

# チーム心リハ 次なるステップ目指して

当院循環器科は東温地区・松山東部地区の心臓病患者さんだけでなく、愛媛大学医学部附属病院や愛媛県立中央病院から紹介を受けた心臓病手術後の患者さんや重症の心不全患者さんが日常生活を円滑に営めるための心臓リハビリテーションに力を入れています。昨夏、私たち“チーム心リハ”にとって嬉しいニュースがありましたのでご報告します。

毎年開催されている日本心臓リハビリテーション学会学術集会で、土手副看護師長（写真）の発表が優秀演題賞を受賞しました。生涯において継続が推奨されている心臓病患者さんのリハビリ分野において、看護の実践と運動療法の長期継続の関連性をまとめた内容でした。

ここ数年、全国規模で心電図検定試験（1級～4級）が行われています。今年の受検



心電図検定合格者

前列左から：八木看護師 矢野理学療法士  
泉循環器内科医師

後列左から：船田循環器内科医長  
黒川医化学主任 丸橋理学療法士



賞状を手にする土手副看護師長

者数7,232名からも関心の高さが伺えます。心電図検査は心臓病を診断する上で骨格をなす検査であるため、日頃心電図モニター装着下の心臓病患者さんに運動療法を行っている私たち“チーム心リハ”にとって同検定への受験は必須と考えました。言い出しっぺの筆者も久しぶりに受験生さながらの日常を楽しみました。おかげさまで1級（合格率51%）を受検した泉循環器科医師、黒川生理検査室技師と筆者は皆合格しました。“チーム心リハ”からは八木専従看護師と丸橋・矢野両理学療法士が2級（合格率68%）に合格しました。今回の試みを地道に継続することにより心電図の判読精度や医療レベルの向上を介して心臓リハビリ分野だけでなく地域医療に貢献できればと思っています。

ラグビーワールドカップに熱狂した2019年、大方の予想どおり流行語大賞は“ONE TEAM”に決まりました。私たちも質の高い心臓リハビリテーションの継続と新たな情報発信を目標にチーム一丸となって活動します。2020年版“愛媛医療センター チーム心リハ”のネクスト・ステップにご期待ください。

循環器内科医長 船田 淳一